

職員向け 児童発達支援評価表(多機能型)

事業所名：てとでのキッズ（多機能型事業所：児童発達支援） 職員数：9名 回収数：8名 回収率：89% 調査期間：令和5年2月6日～3月10日 公表日：令和5年3月22日

◎ この「事業者向け 児童発達支援自己評価表」は、児童発達支援に配置する職員で行った自己評価です。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	失っている点、課題や改善すべき点	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	1	0		・利用定員数に対して、十分に広いスペースになっています。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	2	0	・利用児に対して、職員の数が見えていない	・保育士に加え、リハビリ専門職を配置しています。職員の急な休み時は、多機能型事業所での他事業所の協力のもと見守りなどのサポート体制をおこなっています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	3	0	0		・療育室はバリアフリーになっており、状況により隣室の、別単位の児童発達支援の共有トイレを利用しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0		・療育前および営業終了時には、必ず室内のマットや玩具等の消毒を毎回実施しています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2	1	0		・月に1回は、看護・リハビリ・保育士のリーダーで構成した業務会議を設け、課題と改善を明確にしています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	2		・保護者向け評価を職員と共有し、検討会議を設けます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	0	1		・年に一度、保護者向け評価を実施しその結果の情報共有に努めています。また改善策についての協議検討の会議を設け、その後にホームページに掲載するように努めています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	2		・第三者による評価については、必要性を十分に実感しておりますが、評価の実施に至っておりません。次年度の取り組み課題として受け止めています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	1	0		・計画的、定期的に、全職員参加の研修を月に1回実施しております。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	0		・現時点では、当事業所は、医療的管理が必要な利用児を対象とした登録となっています。医学的な情報収集に努めており、標準化されたアセスメントツールを行っております。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	1		・担当の作業療法士が発達個性に応じたアセスメントツールを実施しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	0	2		・発達支援に加えて、保護者のニーズにこたえる家族支援、地域との連携も視野に入れた作成に努めています。
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0		・支援開始前に個別支援計画の職員周知に努めています。	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	失っている点、課題や改善すべき点	改善目標・工夫している点

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	0	1		・活動プログラムの立案を話し合う機会を設けていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2	0	1		・活動計画は、特別な場合を除き、別単位の児童発達支援の計画を参考にしております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	0	0	1		・発達課題に応じた集団療育が実施されています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	0	0		・勤務シフトが3パターンあることや、児童発達支援と放課後等デイサービスを、一体的にサービス提供しているため、朝もしくは夜のミーティングに努めております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	1	1		・多機能型放課後等デイ職員との共有時間の確保に努めていきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	1		・毎日経過記録を記載しています。課題発生時は上司や管理者との共有に努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	1		・個別支援計画更新時には必ずモニタリングを実施していきます。必要に応じて医療機関との連携に努め情報提供書をもとに見直しをおこなっています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	1		・会議の検討項目に応じて、最も適した専門職（児発管・保育士・看護師）が会議に出席できるようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	1	0	1		・利用児のかかりつけ医療機関との情報共有をおこなっています。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	1	0	0		・受診時には、児童発達支援での経過記録を保護者に持参いただけるように文書を作成し渡すようにしています。また、必要に応じて医師の意見を情報収集いただくように保護者に働きかけています。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	0	1		・同上
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	1		・今年度、特別支援学校と情報共有・相互理解を深めるために連携を実施しました。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	1		・同上
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	0	3		・現時点では、研修の実施に至っておりません。次年度の取り組みとして計画していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	2		・同一法人内に保育園が設置されています。協働してチューリップの球根を植えたり、一緒に散歩にいたり交流の場を設けております。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	0	2	3		・子ども部会の研修に参加しております。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	失っている点、課題や改善すべき点	改善目標・工夫している点
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	0	0		・保護者とは、毎日の来所時に情報共有に努めております。また課題発生時には児発管、管理者との共有をおこ	

	①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	2	1	3		・連絡帳を通して情報共有や発達支援を行っています。また希望者に対しては対面での相談も受けており、来年度も引き続き実施していきたいと思ひます。
保護者の説明責任等	②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	1		・契約時および重要事項変更時に説明するように努めております。
	③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	0	1		・発達支援、家族支援、地域支援に分けて説明をおこない、同意を得るようにしています。
	④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	2		・登録利用児が少ないこともあり、看護師により随時の情報共有と助言をおこなっています。
	⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	1		・今年度は、運動会や情報交換会などの保護者会を実施いたしました。次年度も引き続き計画していきたいと思ひます。
	⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	1		・相談内容に応じて専門職の面談対応に務めています。現状では、管理者、児童発達支援管理責任者もしくは作業療法士・看護師が対応いたします。
	⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	0		・月に1回は、児童発達支援事業所のお知らせを発行しています。
	⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	0		・事業所利用開始時に個人情報取り扱いの同意書を作成し、それに沿った運用をおこなっています。発信前のダブルチェックの仕組みを作っています。
	⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1	0	0		・出来るだけ個別にて情報を伝達しています。必要性に応じて視覚支援や文書での疎通を図るように努めています。
	⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	1	0	・お話し会や信号電材などのボランティアに来て頂いている。	・感染対策に留意しながら、可能な行事活動の計画立案をおこなってきました。次年度も計画していきたいと思ひます。
	非常	⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	0	0	
⑫		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0		・毎月、別単位の児童発達支援の利用児とともに防災訓練に参加しています。
⑬		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	0		・頓服薬につきましては、お薬預かり証を交わして管理しています。また必要に応じて協力医療機関の医師にたずねる体制をとっております。
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	失している点、課題や改善すべき点	改善目標・工夫している点

時 等 の 対 応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	0	・おやつ提供については、利用開始前にアレルギーについての文書での聞き取りを保護者に対しておこなっています。医師との連携については給食においてのみ（児童発達支援）主治医師より情報提供書を作成、連携していただき事業所協力医師が法人内管理栄養士（厨房）に指示を出しております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0	・ヒヤリハットは、全て事業所内でふりかえり・反省・課題・対応策を共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	0	・虐待・人権委員会の設置と、年に2回の研修を実施しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	0	1	2	・やむを得ず身体拘束をおこなう場合は、管理者はその必要性について法人内の医療安全委員会にて上申し、協議をおこなっています。その結果、個別で保護者面談をおこない、方針を説明をし、身体拘束における同意書を作成する仕組みとなっています。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価を していただく
 ものです。
 「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。